

## 足場からの墜落事故が再発!!

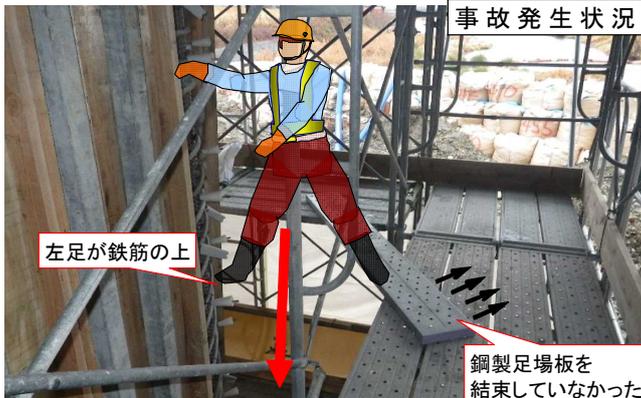
1月に足場からの墜落事故が再び発生しました。今年度は再三の注意喚起にも関わらず、既に**5件(微・軽傷1名、重傷1名)の墜落事故が発生し、平成23年度の3件(重傷1名、死亡2名)**を大きく上回っています。幸い今回は軽傷でしたが、特に足場からの墜落事故は重大災害に繋がる危険性が高く、重傷・死亡事故の発生率は他の作業に比べ約1.5倍になります。足場を使用する各現場においては、安全点検、巡視等を充実し、作業員の不安全行動や足場等設備の不備の早期把握、是正による事故の予防に努めてください。

### 〔事故概要〕

足場上での型枠組立て作業において、型枠材を取り込むためコーナー部のブラケット足場を一部撤去したが、その後本来の足場を復旧せずに足場板1枚を置いて作業を再開したため、足場板がずれて体勢を崩し、5.2m落下し負傷した。作業員は安全帯を装着していたが、フックを取り付けていなかった。

### 〔被害の程度〕

作業員(42才) 左目上、左耳の挫創 全治1週間、休業2日



### 〔再発防止策〕

- ・足場設備の一部を取り外した場合、必ず復旧してから作業着手すること、及び開口部等墜落の恐れのある場所においては、必ず安全帯を使用すること等、足場作業の安全対策の指導を徹底する
- ・安全点検・巡視等を充実し、危険作業・箇所の把握、是正等を適切に実施する

### 参考：安衛則563条 三

…作業の必要上臨時にこれらの設備を取り外す場合において、防網を張り、労働者に安全帯を使用させる等…

## コンクリートはついで鉄筋を切断

水門正面写真



門柱側面写真

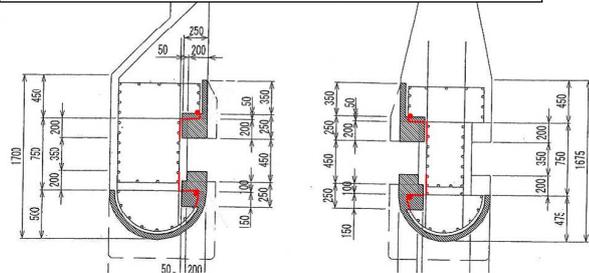


### 〔事故概要〕

既設水門のゲート改造工事で、ゲート戸当たり部の軀対コンクリートはつり作業において、門柱部の主筋、配力筋を誤って切断させた。

元請業者が下請業者に対して、軀対のはつり寸法のみを示しただけで、鉄筋について本来は損傷させずに露出させるべきところを、具体的な作業指示を行っていなかったために発生した事故であった。

門柱部断面図 (赤：切断箇所(●は主筋)、黒網掛け：はつり範囲)



### 〔被害の程度〕

主筋(D25) 5箇所切断  
配力筋(D13,D19) 178箇所切断  
計183箇所切断

### 〔再発防止策〕

作業手順書を作成し、下請業者及び作業員に周知徹底を図る。

事故多発中! 1/21時点で昨年度の事故件数131件に並ぶ!

(裏面につづく)



有意義な情報提供、取り組み発表が行われています

## 延べ2000名以上の参加で各事務所安全講習会を開催！

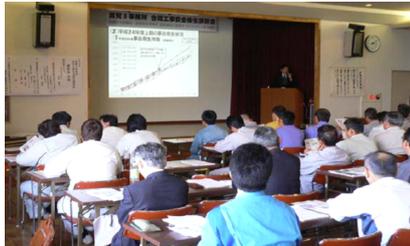
今年度も各事務所安全協議会主催の安全講習会が開催され、7月からの前期、11月からの後期合わせて、延べ19会場、延べ2000名を超える参加者が受講しています（H25年1月時点）。

例年に比べ管内の事故が多発する中、労基署や警察及び整備局からの講演に加え、受注者からも多くの安全対策の取り組みが報告されております。

例年年度末には事故が多発することから、講習会で学んだ「知識」を「意識」を持って「現場活用」し、事故防止の取り組みを充実・活性化させてください。



大阪国道・浪速国道(前期)



滋賀・琵琶湖・大戸川ダム(前期)



日刊建設通信(前期)



姫路河川国道(前期)



紀南河川国道(後期)



京都宮緒(後期)

## 六甲砂防事務所発「平成24年度工事安全施工管理技術研究発表会」開催報告

1月22日(火)に六甲砂防事務所主催の「平成24年度工事安全施工管理技術研究発表会」が開催されました。

発表会は、各現場での安全対策の取り組みを受注者より発表していただき、安全対策への取り組みが特に優れている受注者(発表)を表彰するもので、昨年度に引き続きの開催です。

論文は下記の6社から発表があり、兵庫労働局、兵庫県、神戸市、整備局の審査員が、論文の内容及びプレゼン能力を審査した結果、(株)森組の「八洲嶺堰堤補強工事の安全対策について」が、特にハイキング道の第三者に対する安全対策が優れていたことから受賞されました。

今回の6社の現場で行われている優れた取り組みが、他の現場でも活用され、今後の砂防工事における安全対策が、ますます充実することが望めます。



### 【発表団体】

( )内は発表者名

- 高取中央地区斜面对策工事における安全対策について  
ライト工業(株)西日本支社 (坂上雄亮氏)
- 椿谷第二堰堤補強工事における安全対策について  
(株)松田組 (小原啓介氏)
- 撫育作業における伐木時の安全について  
津田造園土木(株) (公文一佐氏)
- 千鳥堰堤補強工事における安全対策について  
廣川建設(株) (泉信吾氏)
- 鍋蓋山堰堤工事における安全対策について  
大木建設(株) (香川公伸氏)
- 八洲嶺堰堤補強工事における安全対策について  
(株)森組 (濱本佳希氏)